

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	神崎市立千代田西部小学校
-----	--------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の学力向上に資する取組、実践は進みつつある。しかしながら、学力状況調査などからその成果が表れているとは言い難い。児童の学ぶ目的意識と向上心の喚起、学校と家庭が連携した学力向上への取組の推進が必要である。 ・落ち着いた学校、学級づくりを行い、児童の生活態度や学習態度の改善が図られている。統一感をもった教職員の指導体制の維持と強化、取組の継続と徹底を図り、一層の安定を図る。 ・支援が必要な児童に対して、就学相談、教育相談の一層の充実を図ることが重要である。
------------------	--

2 学校教育目標	<p>「豊かな心をもち 個性に富み 逞しく生きる」児童の育成 ～自分を愛し、友だちを愛し、学校・地域を愛する西部小の子～</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ①学び合いを重視した学習指導を推進し、学習内容の確実な定着と学習意欲の向上を図る。 ②自己肯定感を高め、自律ある行動をとることができる児童を育成する。 ③業務の効率化を図りつつ教員の質の向上を目指す。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有する。 ・授業づくりのステップ1・2・3を活用し自己評価を行い授業改善を図る。							<学び部> ・学力向上コーディネーター
	○陰山メソッドによる徹底反復学習による基礎的基本的学習の定着	○百ます計算のひき算で学年目標達成率80%以上 ○当該学年の漢字習得率80%以上	・週3回の陰山メソッドによるスキルタイムの実施。 ・月に1回のスキルタイム一斉計測の実施 ・漢字の先取り学習をし、2学期までに当該学年での漢字指導を済ませ、習熟							<学び部>
	○「わかる」「できる」を実感できる授業づくりの推進	○アンケートにて「授業で学習したことがわかる」と回答した児童80%以上 ○算数科での単元テスト、知識・技能の観点における得点率80%以上	・全員研究授業による実践の共有化 ・授業と連動した家庭学習の充実を図る。							<学び部> ・研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○人権に関するアンケートにて肯定的な回答をした児童85%以上 ○ふれあい道徳の実施率100%	・道徳の公開授業(ふれあい道徳)の実施 ・平和集会及び人権集会の実施 ・児童会活動を主体とした活動の推進							<心づくり部> ・人権・同和担当 ・道徳教育担当
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○アンケートにていじめ防止・対応について、組織的な対応ができていると回答した児童90%以上	・毎月心のアンケートの実施 ・生活アンケートと連動した担任や管理職及びSC等と連携した児童との関わりの推進 ・教育相談全体会を月に一度実施 ・ケース会議(随時)							<心づくり部> ・教育相談担当
	●児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●アンケートにて「先生はあなたがやりたいことを助ましてくれたり応援してくれたりしてくれと思う」と回答した児童80%以上 ●◎アンケートにて「自分の夢や目標をもって学校生活を送ることができている」と回答した児童85%以上	・学習や学校行事等において、個々の目標をもたせ、振り返りをもとに次の活動への意欲をもたせる。 ・キャリアパスポートの活用							<心づくり部>
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)をめざす ○けが等による保健室来室者5%減 ○自転車のヘルメット着用率100% ○防犯ブザーの所持率100%	・月に一度ヘルメットの着用や防犯ブザーの所持状況を調査し、通信等で保護者への啓発を図る。 ・保健だよりの発行							<体づくり部> ・安全指導担当 ・養護教諭 ・給食担当
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」児童生徒80%以上	・食に関するアンケートを取って食に関する関心を高める。 朝ご飯を毎日食べているか。 好き嫌いをなく食べているか。							<体づくり部>
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○職員全体の時間外在校時間平均45時間以下	・定時退勤日の設定 ・共通理解、共通実践を可能にする掲示板、共有フォルダの活用							教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○児童の自律・自立を促す教育の推進	○きまりやルールを守り、自分で考えて行動できる児童の育成	○アンケートにて「きまりやルールを守ることができる」と回答した児童80%以上	・教員が学習面、生活面のきまりやルールを共有し、指導に関する共通実践の徹底と継続を図る。							教頭、各担当
○教職員の資質向上、授業力向上	○指導力・実践力の向上	○教職員の資質能力の向上に資する職員研修の実施 ○授業力が向上したと感じている教員90%以上	・授業研究会を中心とした校内研究の充実 ・服務、学習指導、特別支援教育に関する研修の実施							・教頭、教務、各担当

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---